

大同・オムロンがレギュラーシーズン1位を確定 ～第33回日本ハンドボールリーグ第17週～

第33回日本ハンドボールリーグ第17週は2月14、15日、愛知、宮崎などで男子5試合、女子3試合が行われ、男子は前週、いち早くプレーオフ進出を決めていた大同特殊鋼が豊田合成の挑戦を退け、レギュラーシーズンの1位を確定。女子もすでにプレーオフ進出を決めていたオムロンが、勝点3の差で追走していたソニーセミコンダクタ九州との直接対決を制し、レギュラーシーズン1位を決めた。プレーオフ進出チームが出揃っている女子に対し、男子はプレーオフ出場権を争うトヨタ車体とトヨタ紡織九州が引き分けるなど、依然として予断を許さない大混戦が続いている。

男子で首位を走る大同は、合成のミスを着実に得点につなげ、序盤から主導権をキープ。左腕・今村や追加登録の中島らの活躍で粘る合成を32-23と無難に退け、15勝目をマークしてレギュラーシーズン1位を確定させた。なお、この試合で大同・松林が通算400得点をマークした。大同を追う大崎電気は、三重でHondaと対戦。大崎は前半だけで9人のCPが得点に絡んだように、全員ハンドボールを展開して16-9と前半で大きくなり。後半、Hondaも諦めず、竹田の強打を軸に追い上げ、23分には23-25と2点差まで迫ったものの、そこから前田、岩永の連続得点でラストスパートを見せた大崎が12勝目をあげた。

今週の大一番、宮崎での車体-紡織のぶつかり合いは、GKの好守もあり、引き締まった白熱戦に。前半21分、紡織は7-6と1点リードの場面から、中畠の50試合連続得点や鈴木の速攻などで3連取してわずかに抜け出し、11-8と3点差をつけ、後半に向かった。紡織は後半も鈴木らの活躍で19分20-14と6点リード、大きな白星ゲットに近づいたが、鶴谷らによる4連打で息を吹き返した車体は、残り3分、22-22と試合を振り出しに戻し、場内のボルテージは最高潮に。残り2分、紡織は西端のポストシュートで勝ち越すも、車体も残り1分37秒、香川が冷静に7mスローを沈めて譲らず、試合はそのままドロー決着。この結果、2番手以降は勝点3の差の中に大崎、湧永、車体、紡織の4チームがひしめく状況が、次週へと持ち越された。

女子はレギュラーシーズン1位の座をめぐり、勝点21のオムロンと同18のソニーが宮崎で激突。オムロンはGK藤間を軸とした堅いディフェンスでリズムをつかみ、前半を15-11とリード。ソニーは後半に巻き返しを図ったものの、エース郭の負傷リタイアなどで流れをつかみきれず、堅実な攻守を披露してリードを広げたオムロンが11勝目をあげた。また、当日の試合で北國銀行が敗れたため、オムロンのレギュラーシーズン1位が決まった。勝点17でソニーを追っていた北國は、この日、絶好調だった三重バイオレットアイリス・毛利、浅井のGK陣の好守に苦しみ、前半で失速。10-18と大量リードを許して後半に入った北國は、上町、横嶋らで得点ペースを上げたが、前半で勢いづいた三重も橋本、伊藤らで着実に得点をマークして主導権をキープ。試合は30-24と三重の快勝に終わり、北國はプレーオフ決戦に向け、不安をのぞかせた。（2ページに続く）



④大崎電気・永島⑤三重バイオレットアイリス・毛利

第18週の日程

2月21日(土)	石川	金沢市総合体育館（JR北陸本線金沢駅バス25分）	13:00～(女) 北國銀 行 × オムロン
	愛知	稲沢市総合体育館（名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」徒歩8分）	12:00～(男) トヨタ自動車 × Honda
	広島	東区スポーツセンター（アストラムライン線牛田駅徒歩2分）	14:00～(女) H C 名古屋 × ソニーセミコンダクタ九州
	沖縄	沖縄県立武道館（那覇空港バス「奥武山運動公園」徒歩5分）	16:00～(男) 豊田合成 × 大崎電気
2月22日(日)	愛媛	松山市総合コミュニティセンター体育館（JR予讃線松山駅徒歩10分）	14:00～(男) 湧永製薬 × トヨタ紡織九州
			15:30～(男) 球コラソン × 大同特殊鋼
			11:50～(女) 三重バイオレットアイリス × 広島メイプルレッズ
			13:30～(男) 北陸電力 × トヨタ車体



広島メイプルレッズ・李

琉球コラソンが逆転で3勝目をマーク

そのほかの3試合も順位争いをめぐって白熱の攻防が展開された。大崎電気と同勝点で並ぶ湧永製薬は、トヨタ自動車を相手に坂本のサイドで先行してリズムをつかむと、武藤のポストなどで主導権を握った。湧永は後半も新、坂本のサイドや、通算400得点を達成した古家のロングなどで着実に加点、山口らで追撃する自動車を危なげなく退けた。

福井での北陸電力-琉球コラソン戦は、前半3点ビハインドを背負っていた琉球が後半出だしに水野(裕紀)、高田の3連打で15-15の同点に追いつくと、その後は1点を争う大接戦となった。18分過ぎのパワーブレーチャンスに2連取した琉球が22分27-23とリードを広げたが、北電も神田のロングや杉山の7mスローで26分に28-28の同点とし、さらに高田が勝ち越しゴールを決めた。しかし、最後まで走りのスピードが衰えない琉球は高田、村山の連続速攻で逆転に成功、同点を狙った北電のサイドシュートをGK内田が阻んでタイムアップとなった。

ホーム広島でHC名古屋と対戦した広島メイプルレッズは、3:2:1の新ディフェンスシステムとGK堂面の好守がしっかりととかみ合い、12分過ぎまで名古屋を無失点に抑えた。13-6で前半を折り返した広島は、後半も植垣、大前らで点差を広げ、後半10分過ぎには今期で引退の決まっている青戸、樹山、坂口がコートにそろい踏み、ホーム最終戦に花をそえた。試合は終始主導権を握った広島が28-12で勝利をおさめた。

次週は石川などで男子5試合、女子3試合が行われ、男子ではトヨタ紡織九州がプレーオフ戦線生き残りをかけて湧永と対戦、女子ではリーグ1位を決めたオムロンに対し3位の北國銀行が挑む。終盤に入って好調な三重バイオレットアイリス-広島の対戦も興味深い。

◆ 2月14日(土) 男子 福井・北陸電力福井体育馆フレア		◆ 2月14日(土) 男子 愛知・枇杷島スポーツセンター		◆ 2月14日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター		
琉球 コラソン	30 (12-15) 3勝0分13敗	北陸電力 3勝0分11敗	大同特殊鋼 32 (18-12) 15勝0分1敗	豊田合成 23 (14-11) 3勝0分13敗	広島メイプル レッズ 28 (13-6) 5勝0分8敗	
0/2 宮城 0/0 久高 1/2 8/12 村山 0/0 棚原 5/8 岡田 0/1 積高 2/5 志慶真 <1/3> K内田 0/0 水野矢 2/3 内山 7/9 高田 <1/3> K石田 5/7 水野紀	高橋 3/5 8/13 0/2 4/6 0/1 3/4 6/9 0/0 4/5 0/0 0/0 1/3 0/0 K 山 K <1/2> 石塚 0/0 有江 K	0/2 宮城 0/0 久高 1/2 8/12 村山 0/0 棚原 5/8 岡田 0/1 積高 2/5 志慶真 <1/3> K内田 0/0 水野矢 2/3 内山 7/9 高田 <1/3> K石田 5/7 水野紀	松林 4/4 4/7 末松 2/4 富田 4/6 地引 3/5 武田 0/1 岸川 <0/2> K高木 5/6 李才佑 0/0 千々波 0/0 山城 <0/2> K東 0/0 白元皓 4/8 松永 1/2 渡久川	大立 K <0/1> 原 1/2 後藤 0/0 黒木 2/4 大橋 2/5 桶谷 2/5 渡久山 0/2 4/4 今村 4/11 中村 2/4 芳仲 2/6 藤堂 K <0/3> 中島 3/7 畠中 1/10 田形 0/0	<1/1> K堂面 2/3 土屋 2/4 樹山 0/0 青戸 5/8 大前 0/2 6/10 植垣 5/9 李 0/3 坪井 1/2 伊藤 3/5 坂口 1/1 安齋 1/2 石山 2/3 新城	近藤 K <2/2> 近池田 2/4 佐藤 2/8 高橋瑛 2/12 菅谷 1/7 0/1 上野 3/4 高橋玲 1/1 家城 K 藤島 0/0 坂口 德永 K 生川 0/0 山本 1/5
1/2 29/47 審判 (藤井・大熨)	11(FPP)18 観客 250人	25/42 4/6 審判 (油上・中村)	4/4 28/45 審判 (油上・中村)	19/56 4/4 観客 637人	0/2 28/50 審判 (寺内・細川)	12/41 0/1 観客 655人



豊田合成

“豊田合成の元気印” 桶谷英則選手！

岐阜県出身の桶谷英則選手（=写真）は中学でハンドボールを始め、地元の市立岐阜商業高校へ進学してハンドボールを続ける。高校卒業後はハンドボールはしないだろうと考えていたが、いざ就職が決まった3年生の時にハンドボールを諦めきれず高校の監督に相談し、当時日本リーグ2部だった豊田合成に入社した。

ハンドボールを続けるのだが、職場は夜勤もある現場職で次第に向上心を失いかけていた。自らも「このままでいいのか」と自問自答していた時、豊田合成に移籍してきた21番畠中選手との出会いをきっかけに、忘れていた向上心や闘争心、ハンドボールへの熱い思いを取り戻す。

その頃、日本リーグも1部制となり豊田合成もトップリーグでの参入を果たすことになり、さらに追い風となる。その後、日々ハードなトレーニングを積み重ねることで、

秘められていた高い身体能力が開花し、大卒がメインの日本リーグでも通用するプレーヤーへと成長。今やチームにかかせない存在となっている。

来季入団の各チームの大卒ルーキーとは同じ年。今まで培ってきたものを十分に発揮し、力の差を見せつけてほしい。そんな7番桶谷選手は持ち前の明るさでチームの元気印的存在でもある。夢は日本代表でオリンピック出場と大きく、今後の活躍に期待したい。皆さん!! 豊田合成とチームの元気印：7番桶谷英則を宜しくお願いいたします。





湧永製薬・新

◆ 2月14日(土) 男子 広島・東区スポーツセンター		◆ 2月15日(日) 女子 三重・名張市総合体育館		
湧永製薬 41 (19-10) 12勝1分3敗	トヨタ自動車 19 1勝0分15敗	三重パオレッ トライス 30 (18-10) 5勝0分8敗	北國銀行 24 8勝1分4敗	
K 志水 3/ 3木村 8/ 8坂本 0/ 0濱本 4/ 9福田 2/ 3吉田 1/ 5佐藤 4/ 4名嘉 3/ 4 1/ 3 東澤 <0/1> K坪根 7/14 新稻本 5/ 7 武藤光 K 松村 3/ 7 古家	増田 K <0/1> 坂口 0/ 1 岩田 2/ 2 高野 0/ 0 栗崎 4/ 6 小林 1/ 3 多和田 2/ 8 佐藤 K <0/1> 田中 0/ 0 1/1 出會 1/ 1 稻本 K <1/2> 増田 3/ 8 山口 5/13	<3/4> K 浅井 3/ 7 横川 6/ 6 桂 0/ 0 石黒 2/ 3 宮下 0/ 0 谷口 0/ 0 北村 伏見 1/ 2 橋本 4/ 4 毛利 6/ 7 星野 5/10 伊藤 <0/1> K 森田	下地 K <0/2> 上町 5/ 9 5/8 宮前 0/ 1 佐久川 0/ 0 小野澤 0/ 1 横嶋 7/ 7 野路良 1/ 4 武井 1/ 8 0/1 田代 K <0/1> 仲宗根 0/ 2 0/1 野路里 3/ 7 井上 0/ 0 八十島 2/ 4 若松 0/ 3	
3/4 38/63 7(FPP)6 審判(佐々木・高原)	18/42 1/1 観客 720人	3/3 27/39 5(FPP)2 審判(寺内・細川)	19/46 5/10 観客 1050人	
◆ 2月15日(日) 男子 三重・名張市総合体育館	◆ 2月15日(日) 女子 宮崎・小林市市民体育館	◆ 2月15日(日) 男子 宮崎・小林市市民体育館		
大崎電気 27 (16-9) 12勝1分3敗	Honda 5勝0分11敗	オムロン 30 (15-11) 11勝1分1敗	トヨタ紡織 九州 23 (11-8) 10勝2分4敗	
K 浦和 0/ 2 小澤 4/ 5 前田 2/ 2 中川 4/ 5 永島 1/ 3 太田 1/ 3 酒井 K 濱口 2/ 3 岩永 2/ 4 東俊介 2/ 7 内田 0/ 2 猪妻 0/ 0 望月 3/ 8 宮崎	中谷 0/ 0 鶴見 3/10 柳本 5/ 8 河瀬 1/ 1 竹田 9/12 横地 3/ 8 伊藤 0/ 1 青山 0/ 0 瀬元 0/ 0 野嶋 2/ 6 高木 0/ 0 兼浦 K 大井 0/ 0 四方 K <1/3>	K 勝田 4/ 6 城内 0/ 0 安心院 1/ 1 卷 0/ 0 西本 1/1 5/11 5佐久川 3/ 5 佐 6/10 洪廷昊 K 藤間 飯田 1/ 1 高田 1/ 1 市村 4/12 東濱 1/ 1 勝連	中島 0/ 1 <0/1> 郭惠靜 2/ 8 長野 2/ 7 工藤 0/ 3 亀山 6/ 8 高栖 2/ 5 飛田 K 樋口 5/ 6 佐師 1/ 1 K 藤間 飯田 0/ 1 高田 K 南東 0/ 0 川口 1/ 2 金城 3/ 6	トヨタ紡織 木下 K 中島 1/ 3 佐々木 0/ 0 野村 0/ 2 村上秀 1/ 1 吳相民 3/ 5 北出 3/ 5 平田 K <2/4> 小沢 0/ 0 阪長谷川 3/ 5 谷鶴谷 7/ 7 木練香 1/ 4 2/2 崎前 2/ 5 木崎 2/ 2 木原 1/ 7
2/3 25/49 9(FPP)6 審判(池渕・檜崎)	23/46 0/0 観客 1300人	1/1 29/51 8(FPP)3 審判(亀井・堀川)	22/48 0/0 観客 915人	
2/4 21/46 6(FPP)6 審判(浦川・石崎)	21/41 2/2 観客 1260人			



トヨタ車体

元気あふれるトヨタ車体スポーツクラブ

トヨタ車体の元気の良いスポーツクラブを紹介します。

女子バレーボール部は、昨年末に行われた08年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権で初優勝。また、チームラン



天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会で初優勝
日本一になったトヨタ車体女子バレーボール部

ドクルーザートヨタ車体は09年ダカールラリーの市販車部門で優勝して4連覇を達成しました。他クラブの刺激を受けているハンドボール部の今後の活躍にもご期待ください。



2009年ダカールラリーで市販車部門の優勝を獲得
4連覇を達成したチームランドクルーザー(トヨタ車体)

男女個人賞レース 第17週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末 松 誠 (大同特殊鋼)	121 点	(16試合)	1 上 町 史織 (北國銀行)	123 点	(13試合)
2 村 山 裕 次 (琉球コラソン)	119 点	(16試合)	2 郭 惠 静 (ソニ一)	97 点	(13試合)
3 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	113 点	(16試合)	3 樋 口 真 央 (ソニ一)	74 点	(13試合)
4 竹 田 寛 明 (Honda)	105 点	(16試合)	4 横 嶋 かおる (北國銀行)	63 点	(13試合)
5 中 崑 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	100 点	(16試合)	5 藤 井 紫 緒 (オムロン)	62 点	(12試合)
6 柳 本 義 文 (Honda)	90 点	(16試合)	5 東 濱 裕 子 (オムロン)	62 点	(13試合)
6 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	90 点	(16試合)	5 李 キヨンミン (メイオレットアイリス)	62 点	(13試合)
8 新 建 二 (湧永製薬)	87 点	(16試合)	8 洪 廷 昊 (オムロン)	59 点	(13試合)
9 門 山 哲 也 (トヨタ車体)	85 点	(16試合)	9 佐久川 ひとみ (オムロン)	58 点	(13試合)
10 高 田 匠 (琉球コラソン)	84 点	(15試合)	10 佐藤 由紀恵 (H C 名古屋)	57 点	(13試合)
11 神 田 友 和 (北陸電力)	78 点	(16試合)	11 植 垣 曜 恵 (メイオレットアイリス)	55 点	(13試合)
12 内 田 雄 士 (大崎電気)	77 点	(16試合)	12 城 内 真 紀 (オムロン)	52 点	(13試合)
13 東長濱 秀作 (湧永製薬)	76 点	(13試合)	13 高 栖 由 香 (ソニ一)	50 点	(13試合)
14 光 増 由 矢 (トヨタ自動車)	74 点	(16試合)	14 星 野 美 佳 (バイオレットアイリス)	49 点	(13試合)
15 白 元 喆 (大同特殊鋼)	72 点	(15試合)	15 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	48 点	(13試合)

フィールド得点賞

1 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	113 点	(16試合)	1 郭 惠 静 (ソニ一)	93 点	(13試合)
2 中 崑 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	100 点	(16試合)	2 上 町 史織 (北國銀行)	76 点	(13試合)
3 末 松 誠 (大同特殊鋼)	98 点	(16試合)	3 横 嶋 かおる (北國銀行)	63 点	(13試合)
4 竹 田 寛 明 (Honda)	96 点	(16試合)	4 東 濱 裕 子 (オムロン)	62 点	(13試合)
5 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	90 点	(16試合)	5 洪 廷 昊 (オムロン)	58 点	(13試合)
6 新 建 二 (湧永製薬)	87 点	(16試合)	6 佐久川 ひとみ (オムロン)	56 点	(13試合)
7 村 山 裕 次 (琉球コラソン)	86 点	(16試合)	7 李 キヨンミン (メイオレットアイリス)	55 点	(13試合)
8 門 山 哲 也 (トヨタ車体)	85 点	(16試合)	8 城 内 真 紀 (オムロン)	52 点	(13試合)
9 高 田 匠 (琉球コラソン)	84 点	(15試合)	9 高 栖 由 香 (ソニ一)	50 点	(13試合)
10 神 田 友 和 (北陸電力)	78 点	(16試合)	10 星 野 美 佳 (バイオレットアイリス)	49 点	(13試合)

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	90点/144射 0.625	1 横 嶋 かおる (北國銀行)	63点/ 80射 0.788
2 末 松 誠 (大同特殊鋼)	98点/158射 0.620	2 城 内 真 紀 (オムロン)	52点/ 74射 0.703
3 新 建 二 (湧永製薬)	87点/147射 0.592	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	56点/ 84射 0.667
4 中 崑 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	100点/169射 0.592	4 星 野 美 佳 (バイオレットアイリス)	49点/ 75射 0.653
5 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	113点/191射 0.592	5 高 栖 由 香 (ソニ一)	50点/ 81射 0.617

7mスロー得点賞

1 村 山 裕 次 (琉球コラソン)	33 点	(16試合)	1 上 町 史織 (北國銀行)	47 点	(13試合)
2 渡 久 山 慶 一 (豊田合成)	28 点	(16試合)	2 樋 口 真 央 (ソニ一)	33 点	(13試合)
3 末 松 誠 (大同特殊鋼)	23 点	(16試合)	3 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	31 点	(13試合)
4 藤 山 岳 士 (トヨタ紡織九州)	21 点	(13試合)	4 植 垣 曜 恵 (メイオレットアイリス)	21 点	(13試合)
4 桜 井 渉 (北陸電力)	21 点	(16試合)	5 吉 田 祥 子 (オムロン)	19 点	(7試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 東 佑 三 (大崎電気)	10本/ 22射 0.455	1 田代 ひろみ (北國銀行)	10本/ 21射 0.476
2 田 平 龍 太 郎 (トヨタ車体)	18本/ 50射 0.360	2 毛 利 久 美 (バイオレットアイリス)	8本/ 25射 0.320
2 高 木 尚 (大同特殊鋼)	9本/ 25射 0.360	3 近 藤 澄 江 (H C 名古屋)	12本/ 40射 0.300
4 藤 堂 聖 二 (豊田合成)	10本/ 30射 0.333	4 浅 井 友 可 里 (バイオレットアイリス)	8本/ 28射 0.286
5 石 原 秀 久 (大崎電気)	7本/ 22射 0.318	5 藤 間 かおり (オムロン)	8本/ 31射 0.258

第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第17週終了 2月15日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	Honda	北陸電力	琉球コラソン	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差			
1	大同特殊鋼		30 ○ 21	33 ○ 26	27 ○ 23	32 ○ 20	34 ○ 30	38 ○ 18	27 ○ 23	38 ○ 23	41 ○ 25	29 ○ 15	37 ○ 19	40 ○ 20	32 ○ 23	39 ○ 23	41 ○ 15	0 1	1 30	545 357	357 188	
2	大崎電気	21 ● 30	26 ● 33	27 △ 27	31 ○ 22	30 ● 32	33 ○ 28	36 ○ 31	35 ○ 33	27 ○ 23	33 ○ 21	36 ○ 22	49 ○ 22	33 ○ 21	43 ○ 23	45 ○ 26	16 12	1 3	3 25	543 420	123	
3	湧永製薬	23 ● 27	27 △ 27	22 ● 31		29 ○ 28	25 ● 38	28 ○ 26	28 ○ 21	27 ○ 19	32 ○ 18	33 ○ 16	35 ○ 25	39 ○ 23	36 ○ 20	41 ○ 26	16 12	1 3	3 25	486 381	105	
4	トヨタ車体	20 ● 32	30 ○ 30	32 ● 29	28 ○ 25		25 △ 23	23 △ 27	36 ○ 27	33 ○ 29	30 ○ 19	32 ○ 21	36 ○ 25	43 ○ 28	36 ○ 19	42 ○ 19	16 11	2 3	3 24	521 406	115	
5	トヨタ紡織九州	18 ● 38	33 ○ 27	28 ● 33	31 ● 36	26 △ 28	25 △ 25	23 △ 23		28 ○ 25	30 ○ 32	38 ○ 27	35 ○ 19	38 ○ 26	44 ○ 33	41 ○ 22	16 10	2 4	2 22	500 438	62	
6	Honda	23 ● 27	23 ● 38	33 ● 35	23 ● 27	21 ● 36	19 ● 33	27 ● 28	25 ● 30		29 ○ 27	36 ○ 26	39 ○ 28	27 ○ 18	28 ○ 23	29 ○ 23	16 5	0 0	11 10	436 462	-26	
7	北陸電力	25 ● 41	15 ● 29	21 ● 33	22 ● 36	18 ● 32	16 ● 33	19 ● 30	27 ● 28		32 ○ 38	27 ○ 28	29 ○ 29	24 ○ 34	23 ○ 32	30 ○ 23	30 ○ 22	16 5	0 0	11 10	391 485	-94
8	琉球コラソン	19 ● 37	22 ● 49	26 ● 38	25 ● 35	23 ● 34	21 ● 36	25 ● 35	19 ● 38	26 ● 38	31 ● 36	32 ● 36	30 ● 34	32 ● 34	42 ○ 29	42 ○ 29	16 3	0 0	13 6	434 570	-136	
9	豊田合成	20 ● 40	23 ● 32	21 ● 33	26 ● 39	28 ● 36	19 ● 43	19 ● 36	33 ● 44	28 ● 27	18 ● 28	27 ● 29	23 ● 24	34 ● 35		24 23	16 3	0 0	13 6	396 527	-131	
10	トヨタ自動車	23 ● 39	15 ● 41	23 ● 43	26 ● 45	17 ● 27	19 ● 41	21 ● 37	19 ● 42	22 ● 37	22 ● 29	22 ● 30	25 ● 32	29 ● 42	24 ● 31		24 26	16 1	0 0	15 2	359 565	-206

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北國銀行	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差						
1	オムロン		30 ○ 27	29 ● 31	30 ○ 22	29 ○ 25	31 ○ 22	30 ○ 24	33 ○ 18	29 ○ 22	36 ○ 22	36 ○ 29	34 ○ 22	36 ○ 20	34 ○ 10	13 11	1 1	1 23	399 268	131	
2	ソニーセミコンダクタ九州	27 ● 30	31 ○ 29	22 ● 32	22 ● 29	25 ○ 27	21 ● 21	25 ● 31	29 ○ 21	29 ● 22	34 ○ 21	33 ○ 22	27 ○ 22	36 ○ 17	36 ○ 17	13 9	0 0	4 18	374 312	62	
3	北國銀行	22 △ 22	23 ● 25	23 ● 22	27 ● 27		29 ○ 21	28 ○ 14	30 ○ 26	28 ○ 18	30 ○ 21	24 ● 30	24 ● 30	33 ○ 14	33 ○ 13	13 8	1 4	4 17	357 279	78	
4	広島メイプルレッズ	22 ● 31	21 ● 34	21 ● 30	14 ● 29	26 ● 28	21 ● 29	14 ● 28		22 ● 29	16 ● 19	16 ● 19	16 ● 19	16 ● 12	26 ○ 22	26 ○ 19	28 ○ 12	28 ○ 10	309 333	-24	
5	三重バイオレットアイリス	18 ● 33	22 ● 29	21 ● 26	22 ● 33	22 ● 27	18 ● 30	21 ● 24	19 ● 24	16 ● 22	19 ● 21	19 ● 23	19 ● 23	19 ● 23	26 ○ 19	26 ○ 17	26 ○ 10	287 287	331 -44		
6	HC名古屋	12 ● 36	14 ● 34	10 ● 34	17 ● 34	17 ● 36	14 ● 38	13 ● 33	12 ● 28	22 ● 26	19 ● 26	21 ● 26	23 ● 26	23 ● 26		13 0	0 0	13 0	213 416	-203	

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に關係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。